

平成21年度 入札監視委員会議事概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成22年3月17日(水) 中国四国防衛局 会議室
委員	中川 郁夫 (委員長/税理士) 那須野 徳次郎 (委員長代理/弁護士) 神野 智文 (財団法人客員研究員) 森嶋 久雄 (不動産鑑定士) 藤井 堅 (大学院教授)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成21年10月1日 ~ 平成21年12月31日		
審議対象件数	67件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	6件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	1件	「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	3件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出理由】 ・契約金額が大きいもの、1者応札のもの、高落札率及び低落札率のものを選定した。</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札】 《岩国飛行場(21)滑走路移設西側誘導路舗装等整備工事》 落札率：90.1% 応札者：6者</p> <p>・入札契約状況調書は公表しているのか。</p> <p>・我社の評価点が低いのではないかといいたクレームはないのか。</p> <p>・加算点及び施工体制の評価点はどのように決めているのか。</p> <p>・標準点100点は全業者に与えるのか。</p> <p>・技術提案の評価点のウエイトはどれくらいなのか。</p>	<p>・契約後、情報公開室において閲覧及び当局ホームページに掲載している。</p> <p>・これまでにクレームはなかったが、入札公告及び入札説明書で評価方法について記載しており、業者にはある程度の評価点は推測できると思料する。</p> <p>・契約課及び担当課で審査し、技術部会及び審査委員会に諮っている。</p> <p>・要求要件を満たしている者に標準点100点を与えている。</p> <p>・WTO(政府調達協定対象)事案のため評価点の最高点は、技術提案が40点、施工体制が30点である。</p>	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案の要求項目は何か。</li>   <li>・低入札調査の資料は膨大だから業者は辞退したのか。</li>   <li>【一般競争入札】 《岩国飛行場（21）訓練施設（948）新設設備工事》 落札率：99.2% 応札者：6者</li>   <li>・予定価格と落札業者以外の応札価格との差が大きいが、予定価格の積算は正しいものと判断して入札を行っているのか。</li>   <li>・設備工事については比較的、差が出ないと思われるが、差が出た原因は何かあるのか。</li>   <li>・工期が随分と長いがなぜか。</li>   <li>【一般競争入札】 《小月（21）給水施設等整備土木工事》 落札率：99.3% 応札者：1者</li>   <li>・応募は1者のみだったのか。</li>   <li>・山口県内の業者は少ないのか。</li>   <li>・再度入札時、予定価格は示さないのか。</li>   <li>・不調なら予定価格を見直してもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理（コンクリート舗装版の初期ひび割れ防止対策）及び安全管理（建設機材及び資材の運搬経路における事故防止対策）である。</li>   <li>・資料作成に時間的な制約があり、また、落札できる見込みがないと判断したためと史料する。</li>   <li>・予定価格の基となる積算は正しく積み上げられたものと判断している。</li>   <li>・消火訓練システムの工事は別に発注しており、今回の工事は当該システムを納めるための建物の比較的簡単な電気等の設備工事であるが、落札業者以外は積算についてよく理解していなかったのかもしれない。</li>   <li>・消火訓練システムの製造に長期間を要するためである。</li>   <li>・庁舎内に掲示及び当局ホームページに掲載し公告したが、結果的に1者のみであった。</li>   <li>・他機関発注の災害復旧工事があったため、当局への応募が少なかったものと思料する。</li>   <li>・予定価格は示さず、予定価格に達していない旨を伝えている。予定価格との開きがあったため当局の積算の考え方を説明し、2回目の入札を行い、予定価格との差が少なかったので3回目の入札を実施した。</li>   <li>・同じ工事内容で予定価格を変えずに入札した場合、当初に入札参加した業者は、再公告した工事の予定価格が推測されるため、公平性の観点から、工事内容を見直して再公告することになっている。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○業務 【簡易公募型プロポーザル】 《岩国飛行場（21）防衛施設整備監理業務（その2）》 落札率：99.8% 応札者：1者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札と見積合せの違いは何か。</li> <li>・業務内容は何か。</li> <li>・職員が派遣されるのか。</li> </ul> <p>【公募・簡略審査型競争入札】 《岩国飛行場（H21）下士官宿舎等建築設計》 落札率：35.3% 応札者：7者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業務は低入札になることが多いようだが、7者全てが予定価格以下であるがなぜなのか。</li> <li>・調査業務等は手持ち機械があるから安くできるのか。</li> <li>・成果物に問題はなかったのか。</li> <li>・たとえば、昔の橋梁設計等では設計図面1頁につきいくらで見積もって、手書きで20枚ぐらいにまとめていたが、図面枚数ではなく、技術料を高く評価してはどうか。</li> <li>・低入札調査では利益が出るかどうかの調査はしないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札は価格競争であるが、高度な技術が必要とされるプロポーザル方式は価格競争になじまないものであり、評価点が最も高い1者を選定し見積もり合わせを行った結果、予定価格の範囲内であったので随意契約を締結したものである。</li> <li>・発注者支援業務であり、当局職員の補助業務を行うものである。</li> <li>・派遣ではなく請負であり、請負業者の社員3名が当局に常駐して業務を行っている。</li> <li>・どうしても受注したい、あるいは、受注実績をつくりたいためと思料する。</li> <li>・手持ち機械がある、または、協力会社が機械を持っていれば、経費の節減が可能である。</li> <li>・問題はなかった。</li> <li>・今年度からは設計枚数は指定せず、設計規模により見積もっている。</li> <li>・低入札調査では利益は関係なく、この価格で履行できるかできないかの調査である。 工事についてはダンピング防止及び品質確保のため総合評価方式及び施工体制の確認を実施しているが、業務についても総合評価方式を採用する動きがある。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>【一般競争入札】</b>  《日本原演習場空中写真撮影及び図化業務》  落札率：39.0%  応札者：8社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務は完了しているのか。</li> <li>・成果品は仕様書どおりできているのか。</li> <li>・低入札調査は実施しているのか。</li> <li>・予定価格は公表しているのか。</li> <li>・8社の入札金額に大きな幅があるが、落札業者は利益があるのか。</li> <li>・仮に、低入札価格でも利益が出るのであれば、今後、これらの結果を踏まえ、同様の業務については予定価格の設定を再検討する必要もあるのではないのか。</li> <li>・土砂流出量等情報管理システムの構築を行っているが、どのようなものなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月15日に予定どおり完了し、請負業者から完了通知書を受けている。</li> <li>・最終的には、3月24日の完了検査で確認することとしている。</li> <li>・低入札調査は実施しており、業者から業務の履行体制及び経営状況等を確認しており、契約内容に適合した履行が可能と判断した。</li> <li>・契約後に公表している。</li> <li>・今回の落札価格でも、企業努力により利益が確保でき、業務の履行が可能であると判断したものと思量する。</li> <li>・今回の予定価格は、設計業務等標準積算基準書及び見積りにより算出しており、全ての業者が利益を確保できるかどうかは判断できない。</li> <li>・日本原演習場では、機甲車両の走行訓練及び実弾射撃訓練等を頻繁に行っているため、演習場内の土地が荒廃し降雨時には一時流出量が増大、演習場外の周辺住民に被害を及ぼすことがあるので、原因の究明等に役立てるため実施している。  主に、土砂及び降雨流出量の算出であり、シミュレーション機能を有している。</li> </ul>
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○低入札事案について（7件）なし</li> <li>○不調事案について（4件）なし</li> <li>○指名停止等の措置状況について（4件）なし</li> </ul>	<p>回 答</p>
<p>○委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談 合 疑 義 件 数		0 件	(審議概要)
工 事	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業 務	談 合 情 報	0 件	
	点 検 結 果 疑 義	0 件	
		意 見 ・ 質 問	回 答
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）		
審 議 概 要	なし	
	意 見 ・ 質 問	回 答
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0 件	（備考）	
建設工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等		意見・質問		回答	
		なし			
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議  
 契約実施機関：陸上自衛隊

審議対象期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日	
審議対象件数	15,727件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	5件	(審議概要)
一般競争	4件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【選定理由】 1者応札、公益法人との契約、落札率が高い事案を中心に選定した。</p> <p>【1者応札】 《食器洗浄等役務》 第356会計隊 落札率：98.7% 応札者：1者</p> <p>・1者応札で、防衛弘済会以外の入札参加者はいなかったのか。</p> <p>・参加業者が増加したことにより、契約金額は安くなったか。</p> <p>・この役務作業は何人で作業しているのか。</p> <p>・各年ごと契約業者が変わった場合、作業人員は変わるのか。</p> <p>・業者は、すべて備え付けの物を使用して作業しているのか。</p> <p>・防衛弘済会は自衛隊部外関係団体であるため、今後も透明性・競争性向上に努められたい。</p> <p>【一般競争入札】 《給食業務の部外委託業務》 第322会計隊 落札率：99.9% 応札者：3者</p> <p>・入札は2回で落札しており、2回目は落札業者を除いて辞退している状況であるが、2者辞退している状況は落札した業者にはその場でわかるのか。</p>	<p>・今回の契約にあたり現場説明会開催時には、他に1者参加していたが、入札には不参加であった。今回抽出の契約分においては、反映されていなかったが、事後の入札分から前回の入札監視委員会の質問と結果を受け、公告手段の見直し、公告期間の延長により入札参加業者の増加努力を推進し、6者が入札に参加した。</p> <p>・約590万円から約560万円になった。</p> <p>・1日3人で作業している。</p> <p>・仕様書で基準人員は示しているが、業者によっては変わる可能性がある。</p> <p>・洗剤等は官側で準備し、それ以外の調理服、エプロン、長靴等は業者負担である。</p> <p>・今後も透明性・競争性の向上に努力する。</p> <p>・その場では公開しない。後に入札状況の公表の場において初めて公開される。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初度の入札から再度入札に移行する時どの様に実施するのか。</li> <li>・仮に再度入札に移行しても落札しない場合は随意契約に移行するのか。</li> <li>・落札率が99.9%であるがなぜか。</li> <li>・現場での作業人員は何名か。</li> <li>・現場での作業には特殊な免許等は必要なのか。</li> <li>・入札参加3業者の住所はどこなのか。</li> <li>・防衛弘済会は参加していないのか。</li> <li>・平成19年度以前は給食業務はどのようになされていたのか。</li> <li>・参加資格の全省庁統一資格「役務」B以上とあるがどのような資格があるのか。</li> </ul> <p><b>【一般競争入札】</b>  《243号建物冷温水配管改修工事》  第348会計隊  落札率：99.9%  応札者：4者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事概要は何か。</li> <li>・落札率が99.9%と高い理由は何か。</li> <li>・市場価格を採用した理由は何か。</li> <li>・市場価格は入札前に聴取するのか。</li> <li>・現場説明会を実施しなかった理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初度の入札書の中の最低応札金額を公表し、予定価格に達していない旨を告げた後、再度入札に移行する。</li> <li>・再度入札の最低応札金額と予定価格の差が僅少な場合は、予算決算及び会計令の条項により随意契約に移行する場合と仕様書等を見直し改めて公告を出し競争入札を行う場合がある</li> <li>・予定価格の算定は、積み上げによる積算価格と市価調査による積算価格を比較し、低価格の市価調査価格を採用したためである。</li> <li>・10名で作業している。</li> <li>・5名に1名の割合で調理師免許を保持した人の配置を義務付けている。</li> <li>・栄食メディックス(株)及び(株)グリーンハウスは九州の業者であり、シダックスフードサービス(株)は全国展開の業者である。</li> <li>・参加していない。</li> <li>・隊員が調理していた。</li> <li>・全省庁において、営業年数、業績等により格付を行い、その審査数値によりB以上の役務の格付の資格保有者の参加を認めたものである。</li> </ul> <p><b>【一般競争入札】</b>  《243号建物冷温水配管改修工事》  第348会計隊  落札率：99.9%  応札者：4者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内の冷温水配管の改修工事である。</li> <li>・予定価格を市場価格方式によって作成したためである。</li> <li>・通常「公共建築工事積算要領」に基づき積算するが、本工事内容には適用できなかったためである。</li> <li>・そうである。</li> <li>・仕様書及び図面を確認すれば工事の内容が理解できるためである。</li> </ul>



	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・工事で使用する部品・資材等の基準はあるのか。</p> <p>・落札業者の善通寺駐屯地における工事実績はあるのか。</p> <p>・入札に参加した業者の住所はどこか。</p> <p>・陸上自衛隊中部方面会計隊のホームページはどこで見られるのか。</p> <p>・陸上自衛隊中部方面隊の管轄範囲はどこからどこまでなのか。</p> <p><b>【一般競争入札】</b>  《電気料》  第350会計隊  落札率：93.6%  (海田市駐屯地)  90.8%  (原村演習場)  応札者：2者</p> <p>・海田市駐屯地と原村演習場を別々に契約している理由は何か。</p> <p>・(株)エネットは自家発電の能力を有しているのか。</p> <p>・他の駐屯地と比較し契約1kw当たりの単価はどれぐらい差があるのか。</p> <p>・契約時の予定数量を超過あるいは減少した場合、何か契約条項上で問題があるのか。</p> <p>・電気事業法に基づき一般電気事業者として許可を受けている者、または、特定規模電気事業者として届け出をしている者とはどういうことなのか。</p> <p><b>【随意契約】</b>  《電気料》  第357会計隊  落札率：100%  応札者：1者</p> <p>・落札率はなぜ100%なのか。</p> <p>・一般電気事業者とは何か。</p>	<p>・仕様書において、基準となるメーカー及び品名を示し、一定の品質以上を確保している。</p> <p>・ここ数年、数件の工事を実施している。</p> <p>・全て香川県内の業者である。</p> <p>・一般的な検索サイトや防衛省または陸上自衛隊のサイトから確認できる。</p> <p>・東海、北陸、近畿、中国及び四国地区である。</p> <p>・電力会社の約款により、「1事業所1契約」が原則となっている。</p> <p>・自家発電能力はあると思うが、大部分の電力は中国電力(株)から購入し、送電線を借りて自衛隊に供給していると思われる。</p> <p>・各駐屯地によって、料金プランや契約電力量が異なるので一律に比較することができない。</p> <p>・特に問題はない。ただし、常時供給電力の最大需要電力が常時供給電力の契約電力を超過した場合は、契約超過金として1.5倍の算定料金を支払うことになっている。</p> <p>・大規模な事業所に対して電力を供給できる能力を有しているかを申請して許可を得ること、また、環境省に対し、二酸化炭素排出係数や環境への負荷の低減に対する取組状況に関する条件の提示も審査基準の対象となる。</p> <p>・中国電力(株)の料金表を市場価格としており、参加者が当該業者のみであったためである。</p> <p>・電力会社であり、中国電力(株)、四国電力(株)等が該当する。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・特定規模電気事業者とは何か。 ・特定規模電気事業者は発電能力はあるのか。 ・電力会社以外が落札することもあるのか。 ・調査の結果、供給区域外とはどういうことなのか。 ・現在も中国電力(株)なのか。 ・落札した特定規模電気事業者は採算はとれるのか。	・一般電気事業者以外で届け出している会社であり、他の駐屯地で落札実績がある(株)エネット等が該当する。 ・持っているところもある。 ・一般に電力会社は料金表を公表しているため、特定規模電気事業者が参加する場合には、落札する可能性はあると思われる。 ・電力会社はそれぞれの供給区域があり、四国電力(株)などは中国地方は区域外である。 特定規模電気事業者はそれぞれの発電等施設がない場合は供給区域外となる。 ・本年については、一般競争を実施したが、中国電力(株)のみの参加で当該業者の供給を受けているが、平成22年度については、一般競争により3社が参加し、丸紅(株)が落札、初めて中国電力(株)以外となる。 ・入札価格については、業者の判断により入札しているもので、採算を見越してのことだと思われる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし。	

2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0 件	(審議概要)
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	特になし。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0 件	（備考）	
一 般 競 争		0 件		
指 名 競 争		0 件		
随 意 契 約		0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問		回 答	
	特になし。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし。			